

「MRIにおける頸椎加齢変化研究」特別報告会を開催！！

～ 外傷性頸部症候群患者および健常者のMRIを用いた20年間の経年変化の臨床研究 ～

日本損害保険協会（会長：新納 啓介）は、7月7日（金）に東京都千代田区の損保会館で、MRIにおける頸椎加齢変化に関する特別報告会を開催しました。

本報告会は、いわゆる「むち打ち損傷」患者と健常者の頸椎の加齢変化についてMRI検査を通じて20年間比較し、むちうち損傷が頸椎へ及ぼす影響等を研究したもので、2009年に10年間の経年変化の研究結果を報告したその後の10年間の報告会になります。

講師は、慶応義塾大学医学部整形外科学教室の松本 守雄 教授の他、本研究に携わられた国内の脊椎・脊髄分野で指導的なお立場の先生方から、ご説明・解説をいただきました。

当日は損保関係者150名以上が参集し、報告会終了後は多くの質問が寄せられ、盛況裡に終了しました。

【開催概要】

<日時>

2023年7月7日（金）16時30分～18時00分

<講義項目>

(1) 頸椎疾患と椎間板変性	岡田英次朗先生
(2) 外傷性頸部症候群の問題点	
(3) 上記を踏まえたうえでの本研究の歴史 (10年成績を含め)	
(4) 20年時の健常者の頸椎加齢変化	大門憲史先生
(5) 20年時のむち打ち損傷患者の長期経過、 健常者との比較	渡邊航太先生
(6) 30年目の研究の必要性	

<会場>

・ 損保会館2階 大会議室（東京都千代田区神田淡路町2-9）

<講師写真>



慶応義塾大学医学部
松本 守雄 教授

せたがや岡田整形外科
岡田 英次朗 院長

埼玉メディカルセンター整形外科
大門 憲司 先生

慶応義塾大学医学部
渡邊 航太 准教授